

2009年3月期の第3四半期の決算概況

2009年1月23日

モーニングスター株式会社

MORNINGSTAR®

Part 1

決算の概況

連結決算の業績

(単位:千円)

	前年同期間 (2007年4月～2007年12月)	2009年3月期の第3四半期 (2008年4月～2008年12月)	対前年同期間増減率 (%)
売上高	4,158,882	2,212,603	- 46.8
営業利益	437,727	280,246	- 36.0
経常利益	485,220	340,149	- 29.9
当期利益	253,829	217,310	- 14.4

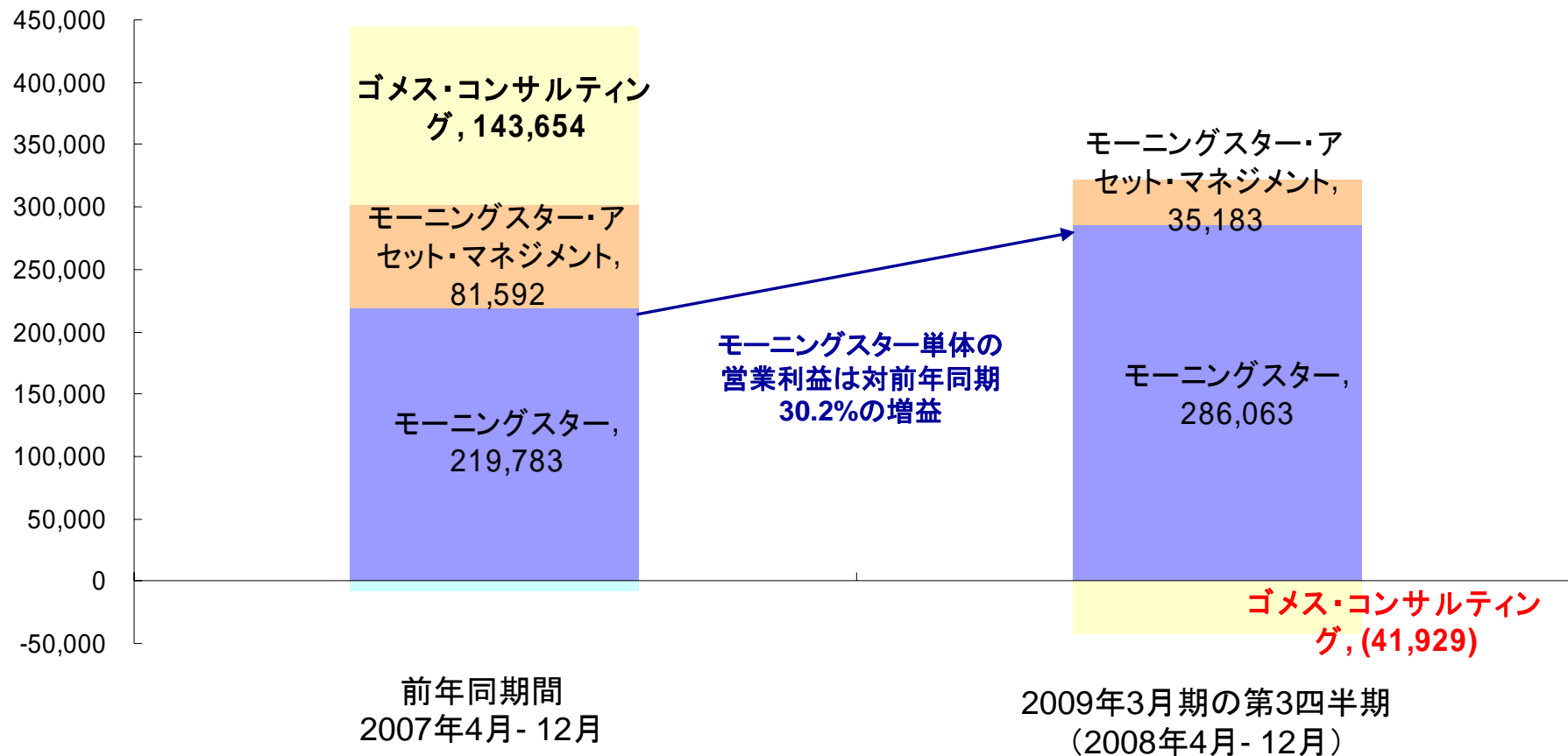
* 前年同期間(2007年4月～12月)の売上高は、2008年4月1日以前に子会社であったSBIマーケティングの売上高1,740百万円を含む。

第6四半期決算の概要

- ① 平成20年4月1日に子会社であるSBIマーケティング株式会社を譲渡したため、連結の対象外となった。SBIマーケティング株式会社は、前年同期間に1,740百万円の売上高があり、減収の主な原因となっている。
- ② 前年同期間に連結営業利益の33%の貢献をしていた子会社ゴメス・コンサルティングの赤字転落が響き、対前年同期で、連結経常利益は、-29.9%の減益、連結当期利益は、-14.4%の減益。
- ② モーニングスター単体は、期初に吸収合併した旧株式新聞社の事業が統合1年目から赤字から黒字転換し、また、従前からのモーニングスターの事業は、環境的に厳しいウェブ広告より、比較的市況に左右されない分析レポートやデータベース販売に力をいれた結果、経常利益は対前年同期 30.1%の増益。
- ③ モーニングスター・アセット・マネジメントは、投資助言契約の本数が、前年同期の7本から9本に増加したものの、投資助言残高が運用環境の悪化により約1,000億円減少したのが響き、経常利益は対前年同期-56.9%の35百万円。

連結営業利益の各社の貢献度

(単位: 千円)



*上記の数字は連結消去を含んでいない。

連結のセグメント別の売上高構成比

セグメント別売上高	前年同期間 (2007年4月～ 2007年12月)		当連結会計期間 (2008年4月～ 2008年12月)		増加率 (%)
	商品・サービス別売上高	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	
金融情報評価・情報提供・コンサルティング					
コンサルティング	573,262	22.5	494,633	22.4	-13.7
データ・ソリューション	1,156,331	45.4	1,137,576	51.4	-1.6
メディア・ソリューション	352,507	13.8	278,571	12.6	-21.0
セグメント売上合計	2,082,102	81.7	1,910,780	86.4	-8.2
ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティング					
ウェブ・コンサルティング	375,626	14.7	212,777	9.6	-43.4
G P N (Gomez Performance Networks)	27,217	1.1	34,440	1.6	+26.5
SEO(Search Engine Optimization)	60,072	2.4	53,812	2.4	-10.4
その他	3,430	0.1	792	0.0	-76.9
セグメント売上合計	466,346	18.3	301,822	13.6	-35.3
合計 : 連結売上高	2,548,448	100.0	2,212,603	100.0	-13.2

*前年同期の構成比は、2008年4月に売却したSBIマーケティングの数字を除いて計算した数値。

単体決算の業績

(単位:千円)

	前年同期間 (2007年4月～2007年12月)	2009年3月期の第3四半期 (2008年4月～2008年12月)	対前年同期間増減率 (%)
売上高	813,272	1,851,602	+127.7
営業利益	219,783	286,063	+30.2
経常利益	281,739	366,682	+30.1
当期利益	171,410	229,818	+34.1

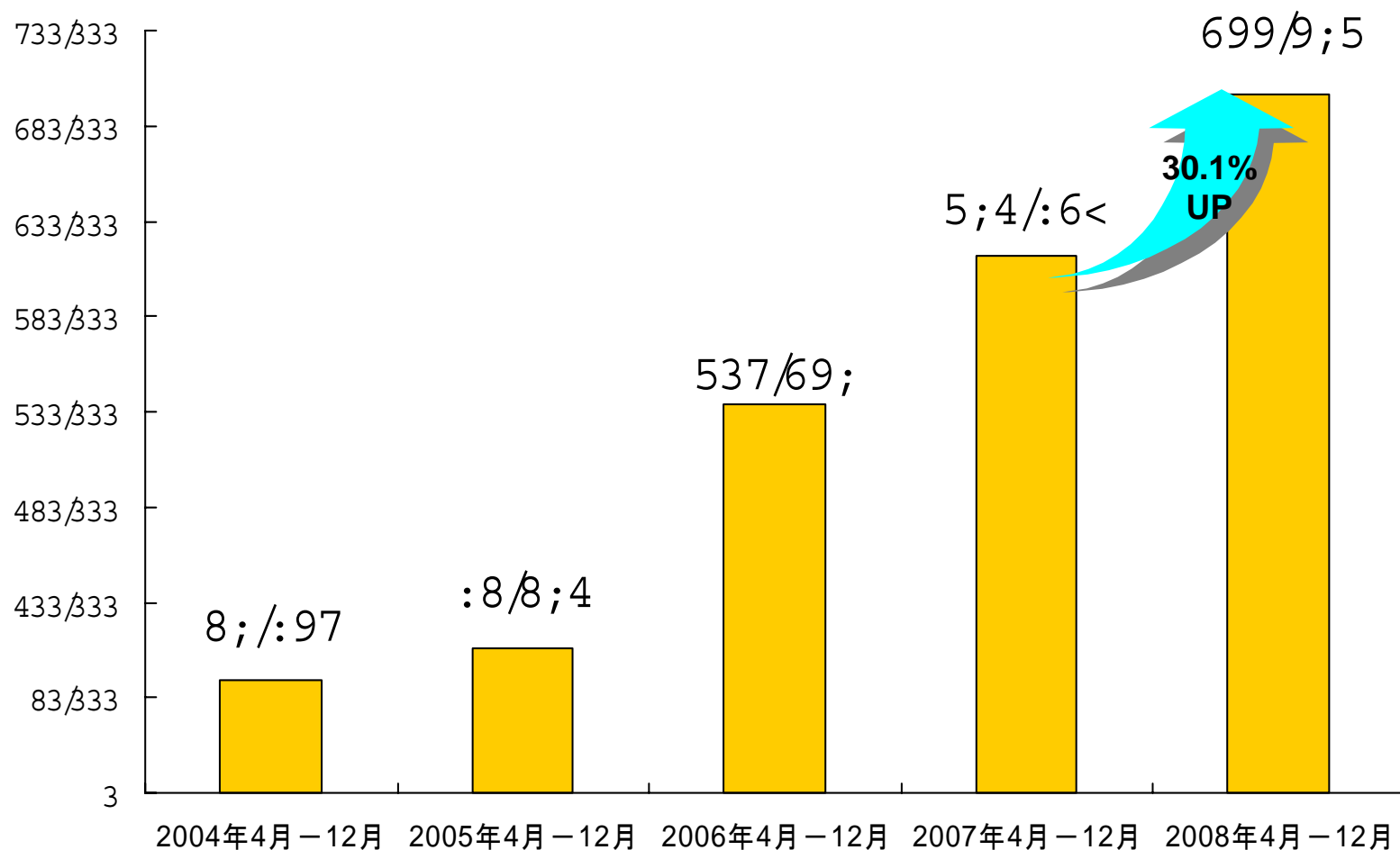
単体数値と各指標の比較

	前年同期間 (2007年4月-12月)	2009年3月期 第3四半期 (2008年4月-12月)	前年同期増減 (%)
モーニングスター単体の 経常利益	281百万円 (2007年4月-12月)	366百万円 (2008年4月-12月)	+30.1
契約型公募投信 純資産残高	79兆円	52兆円	-34.2
日経平均株価	15,307	8,859	-42.1
TOPIX	1,475	859	-41.8

*契約型公募投信純資産残高、日経平均株価、TOPIXは、2007年12月末と2008年12月末の比較数値。

単体経常利益の過去8期分の推移

(単位: 千円)



Part 2

セグメント別の主要売上項目

メディア・ソリューションの売上高構成比

(単位:千円)

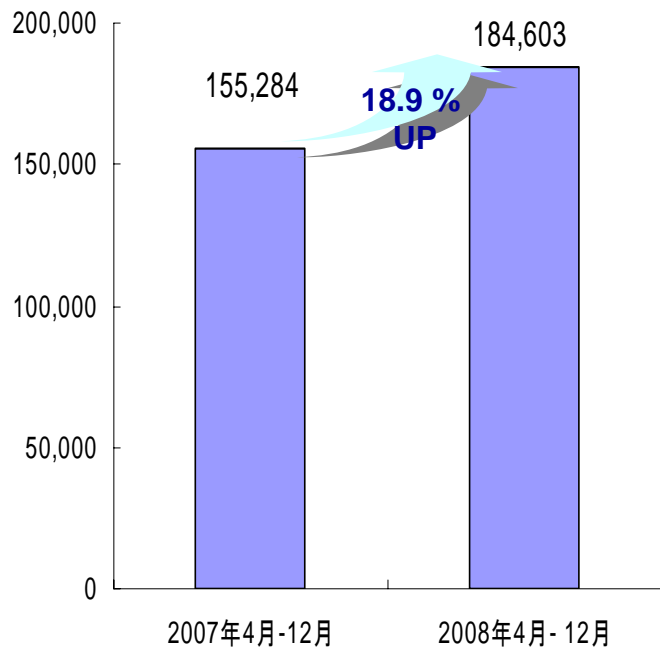
	前年同期間 (2007年4月-12月)	2009年3月期 第3四半期 (2008年4月-12月)	前年同期増減 (%)
メディア・ソリューション	352,507	278,571	-21.0
(ウェブ広告)	203,918	177,687	-12.9
(新聞広告)	148,588	100,883	-32.1

モーニングスター・ウェブサイトのページビューとウェブ広告売上高

ページビューは相場が低迷したにもかかわらず前年と比較して増加したが、金融機関を中心とした広告主の広告出稿が抑制されたことにより、広告売上高は減少。

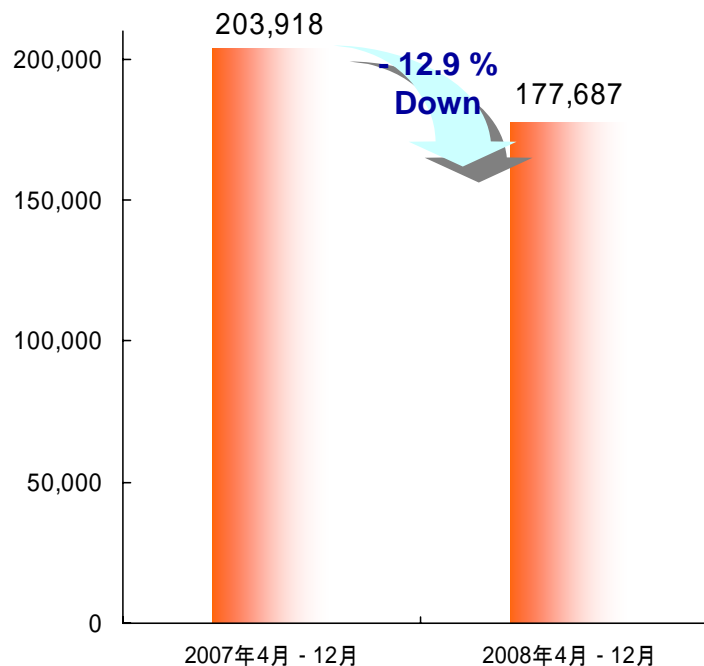
＜ページビュー＞

(千ページ)



＜ウェブ広告売上高＞

(千円)



データ・ソリューションの売上高構成比

(単位:千円)

	前年同期間 (2007年4月-12月)	2009年3月期 第3四半期 (2008年4月-12月)	前年同期増減 (%)
データ・ソリューション	1,156,331	1,137,576	-1.6
(投信データ)	267,618	346,322	+ 29.4
(株式ニュース)	339,669	359,418	+ 5.8
(新聞購読料)	549,043	431,836	-21.3

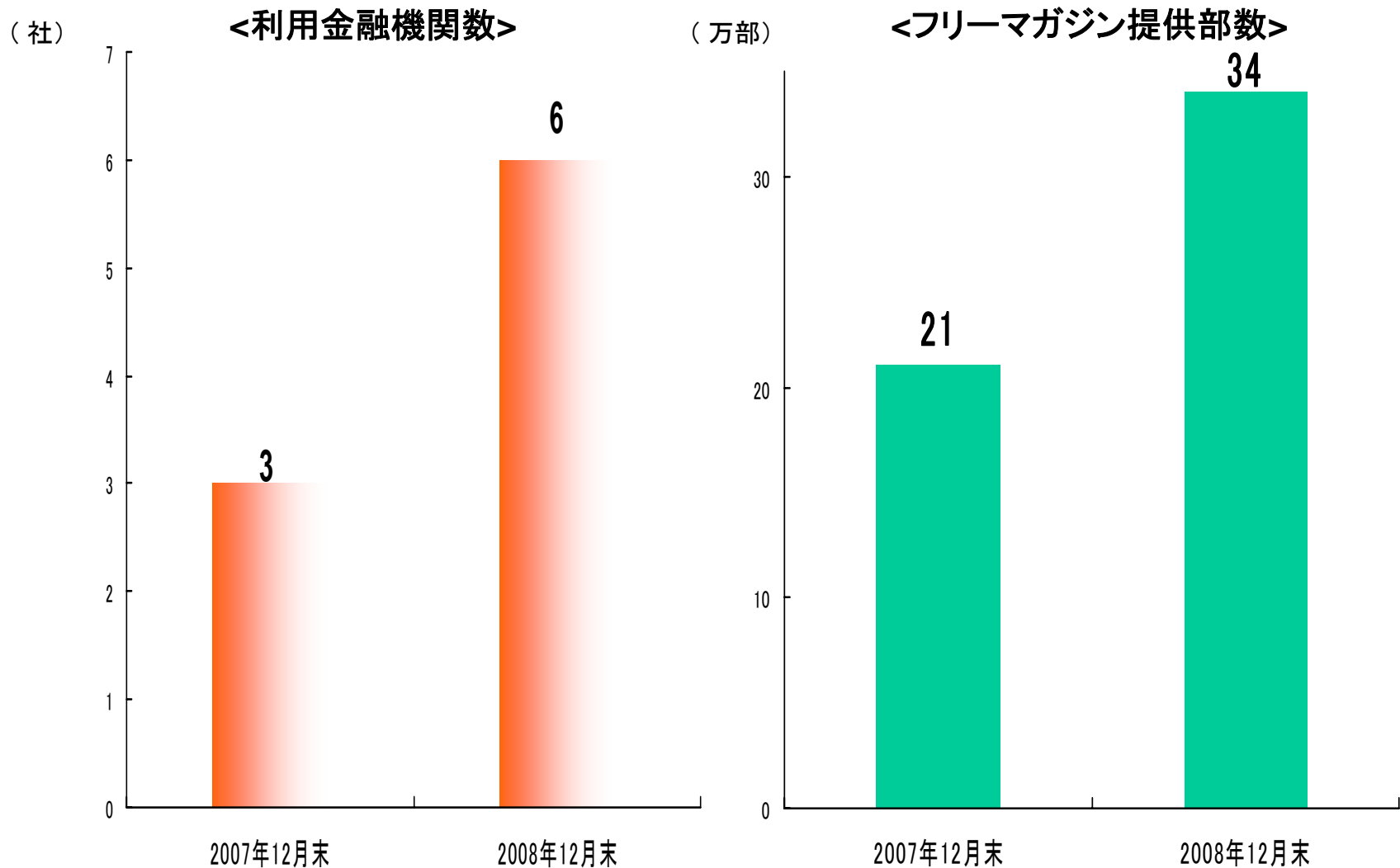
- ・投信データや分析レポートは、投信の運用会社、販売会社が商品企画やマーケティング等に活用。
- ・新聞購読料は減少しているものの、株式関連ニュースの情報配信事業は堅調に伸びている。

コンサルティングの売上高構成比

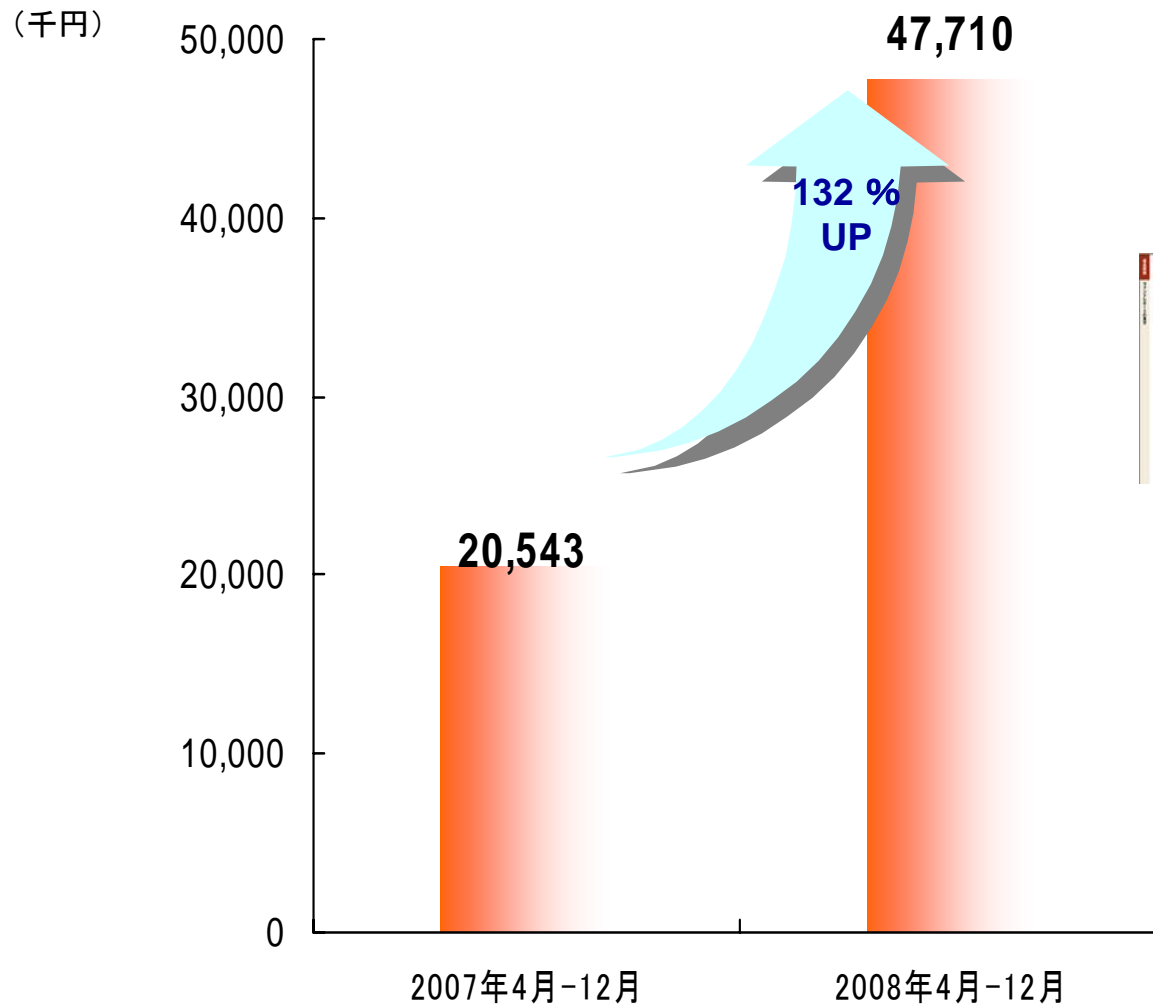
(単位:千円)

	前年同期間 (2007年4月-12月)	2009年3月期 第3四半期 (2008年4月-12月)	前年同期増減 (%)
コンサルティング	573,262	494,633	-13.7
(投資教育関連)	296,272	299,114	+1.0
(旧株式新聞IR説明会)	142,716	84,340	-40.9
(Morningstar Asset)	134,273	111,178	-17.2

資産運用のフリーマガジン利用金融機関数 および提供部数(投資教育関連)



拡大する確定拠出年金関連サービスの売上高(投資教育関連)



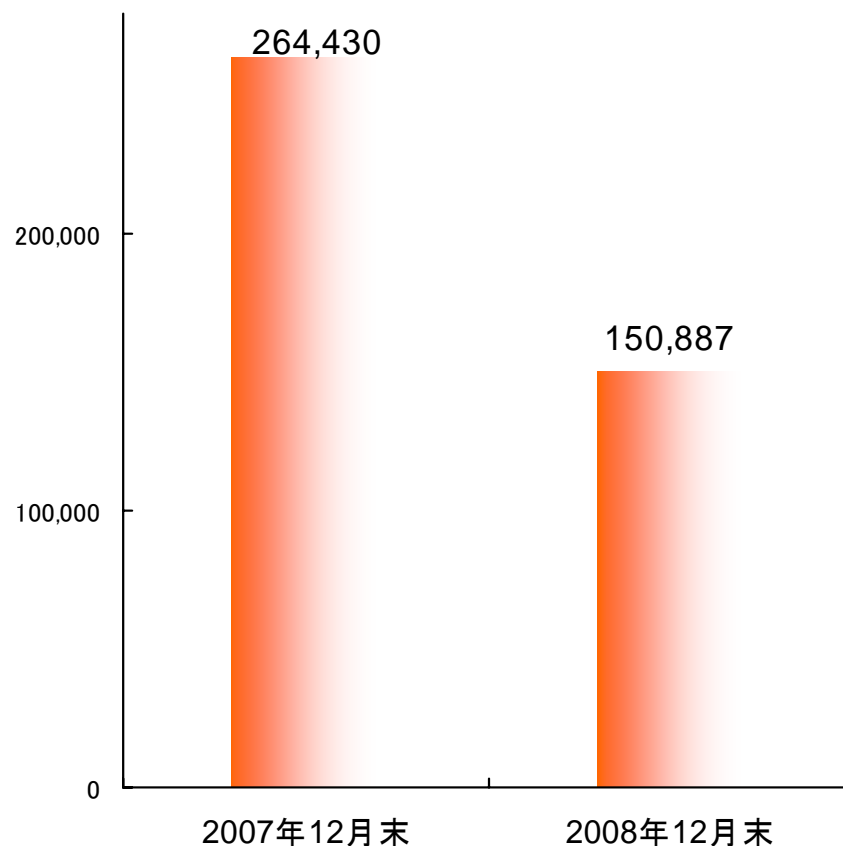
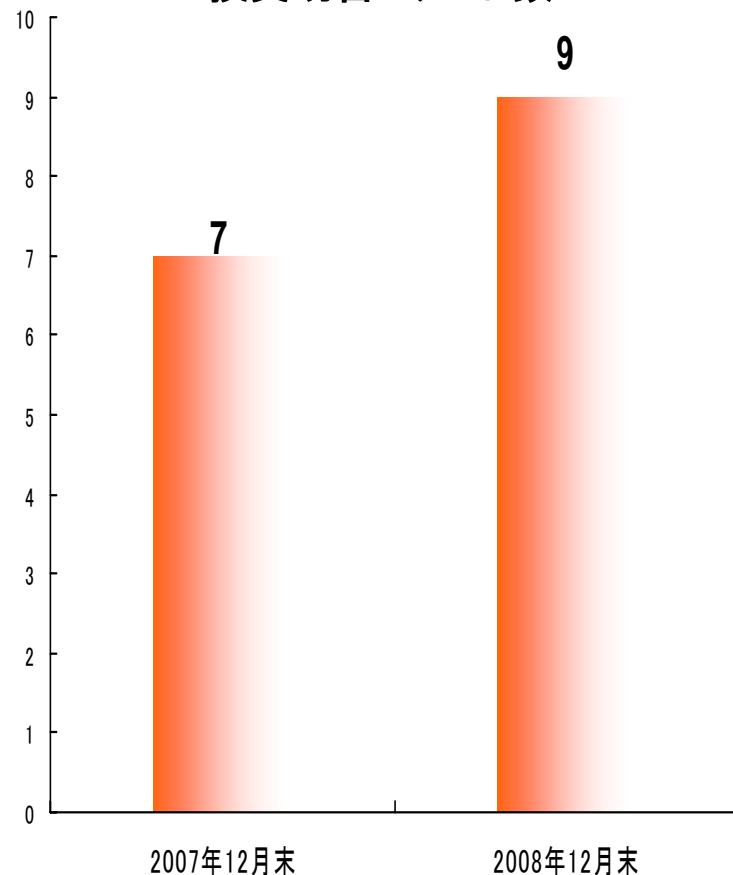
モーニングスター・アセット・マネジメントの 投資助言ファンド数と投資助言残高

(本)

<投資助言ファンド数>

(単位:百万円)

<投資助言残高>



4:

子会社ゴメス・コンサルティング

ゴメス・コンサルティング単体決算の業績

(単位:千円)

	前年同期間 (2007年4月～2007年12月)	2009年3月期の第3四半期 (2008年4月～2008年12月)	対前年同期間増減率 (%)
売上高	466,346	301,823	- 35.3
営業利益	143,654	- 41,929	-129.2
経常利益	146,242	- 35,468	-124.3
当期利益	86,239	- 21,703	-125.2

ゴメス・コンサルティングの売上高・顧客数の業種別構成

不動産、情報サービス等で売上は増加したが、全般的な売上減少を補えなかった

	2007/4/1～2007/12/31 (9ヶ月)			2008/4/1～2008/12/31 (9ヶ月)		
	顧客数(社)	売上高(千円)	売上構成比	顧客数(社)	売上高(千円)	売上構成比
銀行	11	109,656	23.5%	10	60,575	20.1%
証券	9	108,500	23.3%	2	49,926	16.5%
保険	6	51,505	11.0%	8	40,897	13.6%
不動産	8	27,555	5.9%	7	35,233	11.7%
情報サービス	8	9,997	2.1%	9	28,024	9.3%
航空・旅行	10	31,728	6.8%	8	25,927	8.6%
その他金融	12	26,190	5.6%	8	21,521	7.1%
メーカー	8	6,275	1.3%	9	11,304	3.7%
人材	6	53,719	11.5%	7	11,001	3.6%
コンサル・システム	10	21,023	4.5%	10	10,249	3.4%
通信	6	10,704	2.3%	4	4,129	1.4%
その他	5	9,489	2.0%	6	3,032	1.0%
合計	99	466,346	100.0%	88	301,822	100.0%

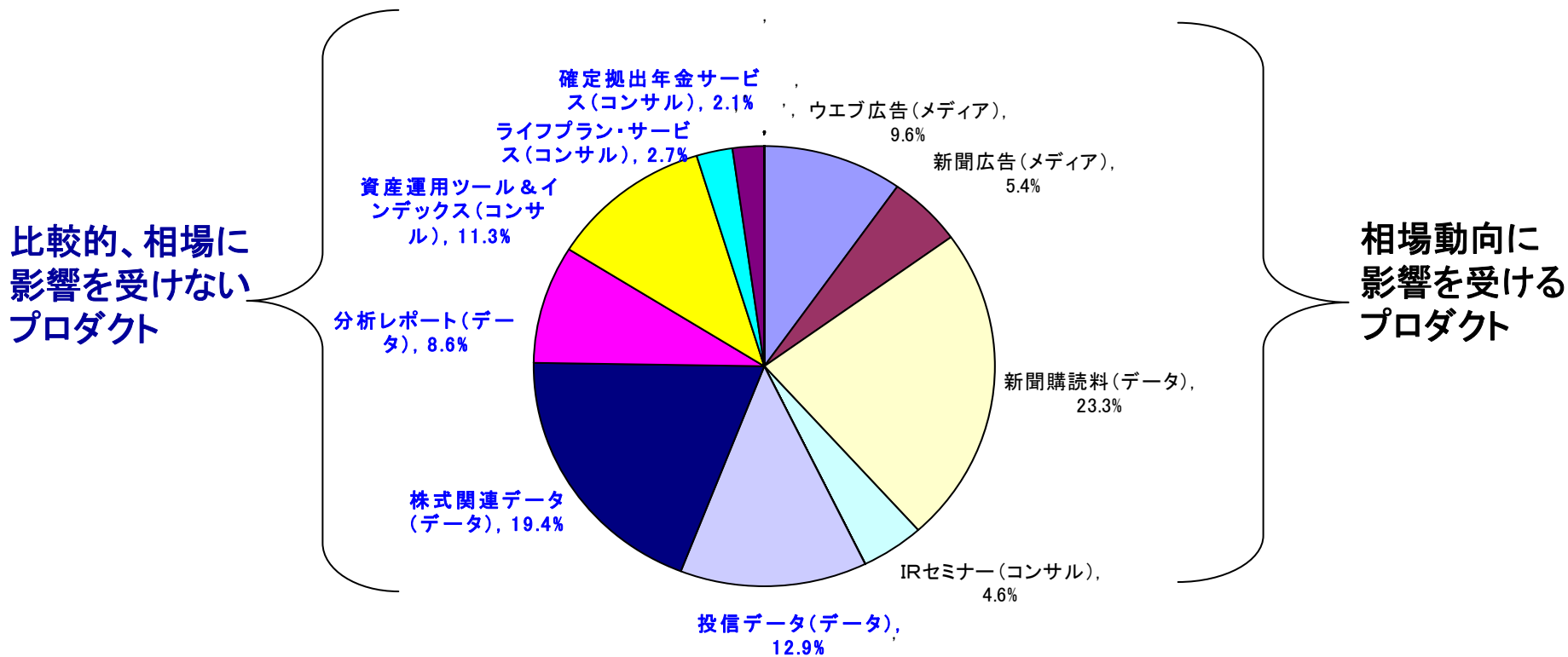
■ 増加または上昇 ■ 減少または低下 ■ 変わらず

Sduw6

今後の事業展開

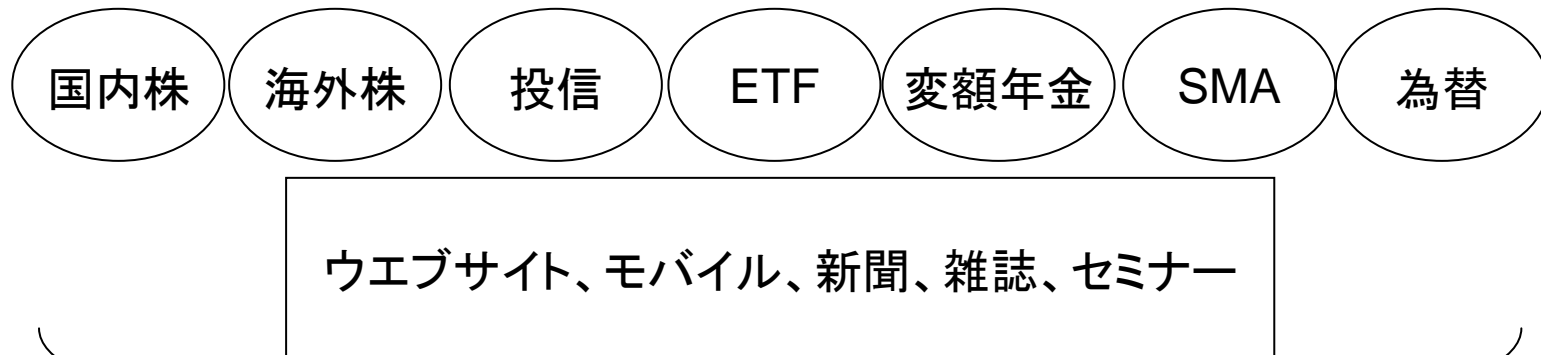
サービスの多様化により経営の安定化を図る

単体のプロダクト別の売上高構成比



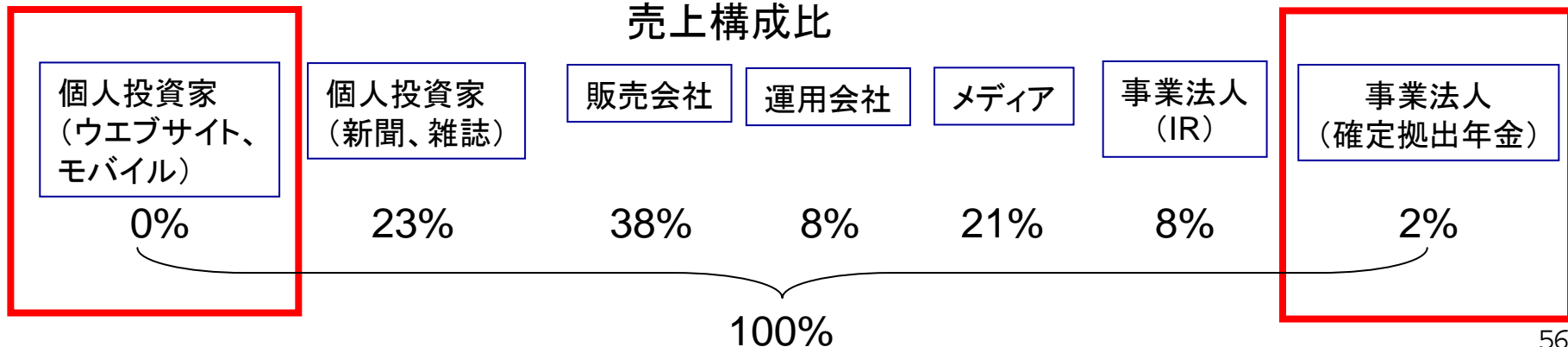
相場の影響を受けずらく、経常的に収入のあがるサービスの拡充を図る。

提供するプロダクト、サービスの多様化に加え、 対象顧客層の拡大を図る



<ウェブ、モバイルの有料化>

<投資教育関連の積極的な推進>



今後の重点項目

□ メディア・ソリューション

3月：株式、投信、為替等の総合金融情報をモバイル向けに有料で提供。

6月：ウェブサイト上で提供している付加価値の高い金融コンテンツと投資関連ツールを有料化へ。

・新しい広告の提案。(動画広告、コンテンツ連動型広告等。)

□ データ・ソリューション

・モーニングスター独自の株式のファンダメンタル分析とテクニカル分析によるレーティングの提供。

・変額年金保険比較データの提供。

・円・ドル、円・ユーロ等の12通貨の為替情報の提供。

□ コンサルティング

・確定拠出年金採用企業向けの投資教育関連ツールの積極的な推進。

・運用シミュレーションツールと新たな運用インデックスの開発。

確定拠出年金関連サービスの今後の事業機会

確定拠出年金の今後の課題

モーニングスターの事業機会

継続教育の義務化

運営管理機関は手が回らず
モーニングスターのサポート

運用商品入替え
マッチング拠出

モニタリング、
ファンド選定助言ニーズ

米国での
アドバイスサービス発展

加入者とのアドバイス契約
(ツール利用)

継続教育サービスのラインアップ

■導入後の既存加入者のフォローアップについて

きっかけづくり

- ・**オリジナルのガイドブック**
コンパクトサイズで時事問題やラインアップ商品レポートも盛り込んだ内容。
- ・**ライフデザイン総合冊子**
ライフプランとDC継続教育の合体版。福利厚生 of 充実にも活用。
- ・**Eラーニング**
豊富なコンテンツを盛り込んだWEBサポートツール

- ・**セミナー**
「担当者研修」⇒「従業員向け①初級②中・上級コース」
- ・**ビデオ**
継続教育用としてセミナー補完。

行動支援

- ・**投資助言サービス**
気軽に相談できるワンランク上の相談窓口。

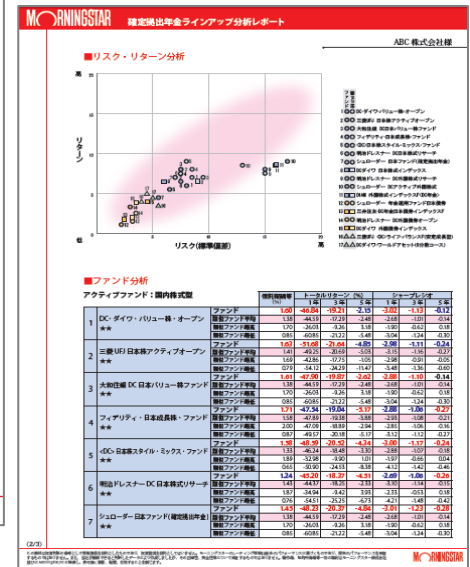
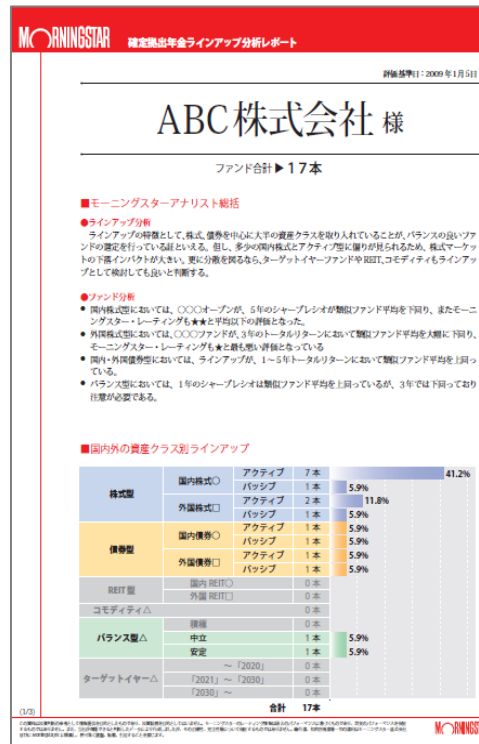
- ・**シミュレーション・ツール**
運用目的を明確にし、アセットアロケーションと商品選択、リバランスができるフォローアップツール。



確定拠出年金の運用商品のモニタリングサービス

確定拠出年金採用ファンドのラインアップ分析

- 第三者の立場から個別商品分析
- ★ モーニングスターアナリストの総括
- ★ ラインアップの総合分析
- ★ 資産クラス別のファンド分析

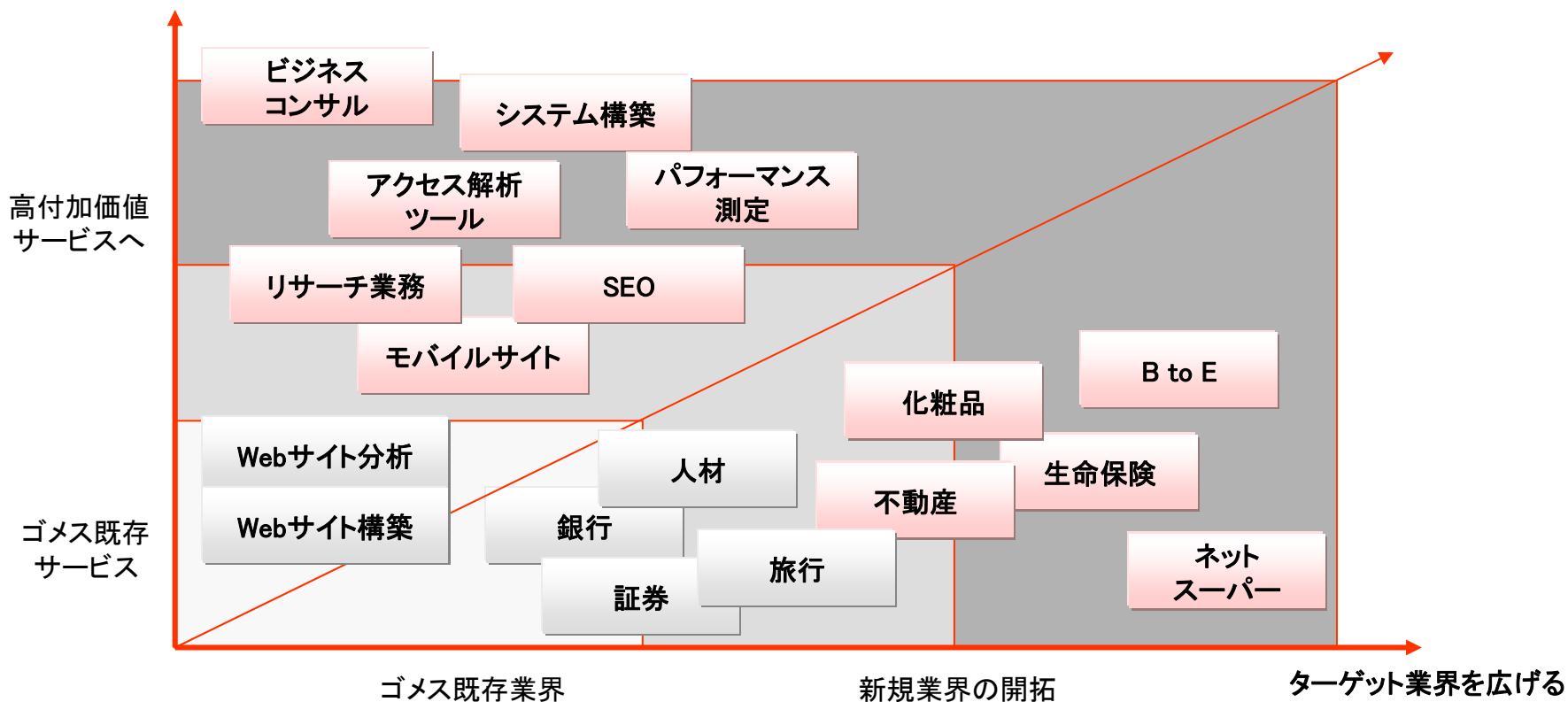


ゴメスの方向性

本業の価値を高める&リーチを伸ばす

ゴメスの強みである「ユーザー中心視点のWebビジネス成功サポート」を軸として、業務の質を高め、
新規業界(まだネットが未成熟な業界)へとアプローチしていく

サービス付加価値を高める



ゴメスの業績回復・継続的な成長に向けた基本戦略

□ 顧客業種の拡大

- ・実績・強みを持つ金融、人材、航空・旅行、不動産向けは深耕を図る。
- ・引き合いが強まっているヘルスケア(製薬、化粧品)、教育(大学、教育関連企業)、BtoE(イントラネット、社内管理システム)向けは、受注拡大に注力する。
- ・業種を問わず、IRランキング等を通じた上場企業へのアプローチも継続する。

□ サービスの高付加価値化の推進

- ・業務フロー改善コンサルティング
- ・Webサイトの表示速度改善コンサルティング

□ 継続型サービスの提供先の拡大

- ・アクセス解析、GPN(Webサイトの表示速度測定ツール)、SEO(検索エンジン上位表示対策)、サイト運用(Webサイトの更新)の提供先を拡大し、安定収益化を図る。
- ・継続型サービスの提供先拡大により、Webサイトリニューアル案件の獲得可能性を高める。

2009年3月期の第3四半期の決算概況

2009年1月22日

モーニングスター株式会社

MORNINGSTAR®